

阿蘇ジオパーク「阿蘇火山の大地と人間生活」

石松昭信^{1*}, 片山彰¹, 森由佳¹, 徳永美紀¹, 池辺伸一郎¹
ISHIMATSU, Akinobu^{1*}, KATAYAMA, Akira¹, MORI, Yuka¹, TOKUNAGA, Miki¹, IKEBE, Shinichiro¹

¹ 阿蘇ジオパーク推進協議会

阿蘇地域は、およそ 27 万年前以降の度重なる火山活動で作り出された世界有数の巨大なカルデラや、多くの火山体で構成される火山群など、雄大かつ多様な火山地形・地質を特徴とする。そしてこの地域では、大自然を舞台に数万年以上にわたって人間の生活が繰り広げられ、草原をはじめとする特有の景観や文化が育まれてきた。阿蘇ジオパークには、カルデラを中心にその周辺の広大な地域が含まれ、地形・地質のみならず様々なテーマを持った 33 箇所のジオサイトが存在する。

以上のような自然・人文地理学的な背景から「阿蘇火山の大地の成り立ち、並びにこの大地と人間生活との関わりに対する理解を深めること」を阿蘇ジオパークの大きなテーマとして掲げている。

この大テーマをジオパーク活動に反映させるために、次の 3 つのサブテーマを設けた。

- 巨大カルデラの形成と日本への影響
- 地球の息吹を感じる中岳火口
- 火山の恵みと人間生活の歴史

我々は、これらの具体的テーマを理解するため、ストーリー性を持ったジオツアーコースを設定した。また、ジオのストーリーを楽しむことは、エコツーリズムなど既存のツーリズムの根底と捉え、様々な方法でジオツーリズムの普及に努めている。同時に、様々な分野で活躍してきた地域ガイドを中心に、より深い専門性を持ったジオガイドの養成を進めてきた。

ジオパークの普及にあたっては、各種資料の作成、講演会やシンポジウム、地域住民を対象とした巡回講座や、地元小中学校への学習支援活動など、多岐にわたる啓発活動も進めている。また、火山学研究者による顧問の他、動植物・民俗学等を専門とする研究者で構成される諮問機関を設置し、ジオパークを多面的に研究する組織づくりを行っている。

また、持続性のある運営体制構築に向け、ジオパーク推進室を独立設置し、専属職員の下、熊本県や構成 8 市町村と密接に連携しながら運営を行っている。各種案内板の設置については、環境省や熊本県による協力を受け、整備を進めている。これら一連の整備は、世界各地からの来訪者に対応し、火山防災及び安全に配慮したものとしている。

阿蘇ジオパークは、国内有数の観光地におけるジオパーク化として、日本をリードする取組みを進め、全国や世界のジオパーク活動に貢献したいと願っている。